

14 市町村 (30 キロ圏) 避難計画策定の現状 無意味なタスク (業務) のトップダウン

2021/07/10 阿部功志

※7月6日現在。回答の要点のみを記したため、表現はやや異なる箇所あり。

※太字は策定できたとされる5自治体 (常陸太田市・大子町・常陸大宮市・笠間市・鉾田市)

市町村名	日立	那珂	常陸太田	ひたちなか	水戸	東海村	高萩	大子	常陸大宮	城里	笠間	大洗	茨城	鉾田	計
人口 (5/1 現在・約 万人)	17.2	5.3	4.7	15.4	26.9	3.8	2.7	1.5	3.9	1.8	7.3	1.6	3.1	4.6	99.8
1 要支援者の人数 (人)	9610	1350	3198	3437	3010	137	1285	6	2171	538	3564	165	517	282	
2 避難する自家用車の台数	64400	9769	15338	今後推計	(今後市民	12702	精査中	約 20	12000	精査中	14426	試算中	未試算	5600	
避難用バスの台数	630	108	53	今後推計	アンケート	303	精査中	2	100	精査中	検討中	調整中	(県に	精査中	
福祉車両の台数	1420	63	(355 人)	今後推計	で推計)	試算中	精査中	回答なし	調査中	精査中	今後検討	調整中	要請)	精査中	
3 住民対応に当たる職員数 (全職員数 人)	試算中 (1418)	未定 (373)	検討中 (546)	未試算 (956)	策定中 (1918)	117 検討中 (420)	精査中 (328)	約 50 (229)	検討中 (486)	精査中 (186)	全職員他 (599)	全職員 (220)	全職員 (309)	全職員 (380)	(8368)
4 避難所の一人当たり面積	3 m ²	2 m ²	3 m ²	2 m ²	調整中	(2 m ² ?)	2 m ²	3 m ²	(県で	2 m ² 等	2 m ²	2 m ²	2 m ²	2 m ²	
見直しはしているか	なし	なし	(毎年	調整中	調整中	調整中	協議中	あり	検討中)	町で決定	協議予定	回答なし	なし	必要に応	
施設の追加は	なし	増加	見直す)	調整中	調整中	+24 施設	協議中	なし		できない	協議予定	検討予定	未定	じて検討	
5 自治体の避難訓練の予定	来年以降	今年度実施	今年度予定	なし	実施要領策定中	3 回実施 今後も必要	今年度はなし	なし	今年度予定	精査中	随時実施予定	今後検討	なし	今後検討	

◎ポイント：1 や 2 の数に対応できる計画は可能か。とくに対応する職員の絶対的不足 (3) で、実際は混乱必至。

◎重要なこと：「実効性を確認しないまま取りあえず策定できたことにして、課題は徐々に解決する」はけっして認めないこと。

首長に釘を刺しておくとともに、住民が行政をこまめに監視し、簡単に解決できない課題を提示し続けること。

避難する側だけ計画を作っても不十分。避難する側が受け入れ自治体と共に実効性ある受け入れ計画を策定すること。

受け入れ自治体の問題

- (調査自治体：つくばみらい市・守谷市・取手市=3市は東海村の避難先 下妻市、笠間市、桜川市、鹿嶋市)
- ・行政の協定だけは結んでいても詳細は手つかず。避難もとの計画ができてから検討する、と丸投げ傾向。城里町は逆。
- ・課題は未整理。詳細な受け入れ計画を作るのかどうかも未定。
- ・受け入れ側住民への周知はしていない。どこから何人が来ることになっているか、知らない。
- ・各避難施設の居住スペースを厳密にチェックする必要あり。県の割り振りは機械的。その後修正したと言うが。
- ・避難所ごとに駐車場は絶対的に不足する。
- ・避難先は学校などの公共施設。長期滞在の可能性を踏まえ、受け入れ側住民への影響を検討する必要あり。



朝日新聞より